



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社
 コード番号 4547 URL <https://www.kissei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 神澤 陸雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務管理部長 (氏名) 北原 孝秀 (TEL) 0263-25-9081
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日 配当支払開始予定日 平成30年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	35,665	△2.5	4,252	3.3	4,693	△9.3	3,337	△22.0
30年3月期第2四半期	36,587	2.1	4,118	△7.9	5,174	6.5	4,280	10.0

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 10,944百万円(14.5%) 30年3月期第2四半期 9,562百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	71.44	—
30年3月期第2四半期	88.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	222,258	185,916	83.5	3,971.02
30年3月期	210,821	176,092	83.3	3,761.03

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 185,511百万円 30年3月期 175,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
31年3月期	—	25.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,700	△1.8	6,400	△35.3	7,400	△35.2	5,500	△39.2	117.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	51,811,185株	30年3月期	51,811,185株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	5,094,803株	30年3月期	5,094,713株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	46,716,432株	30年3月期2Q	48,316,893株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会資料の入手方法)

決算補足説明資料は、決算短信とあわせて当社ホームページに掲載しています。また平成30年11月7日(水)に機関投資家・アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12
3. その他	13
(1) 販売実績	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における医薬品業界は、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、本年4月に実施されました薬価改定におきまして、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の加算要件の見直しや後発品への置き換え率に基づく長期収載医薬品の薬価引下げが実施されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、企業におけるIT投資及び設備投資意欲に改善傾向が見られるものの、低調な個人消費を主要因に景気の先行き不透明感が広がるなど、依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	増減率 (%)
売上高(百万円)	36,587	35,665	△2.5
営業利益(百万円)	4,118	4,252	3.3
経常利益(百万円)	5,174	4,693	△9.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	4,280	3,337	△22.0

・売上高(医薬品事業)の状況

医薬品事業の売上高は、299億8千5百万円(前年同期比7.2%減)となりました。主力製品における積極的な医薬情報活動を推進いたしましたことなどにより、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ錠」及び「ユリーフOD錠」、高リン血症治療薬「ピートルチュアブル錠」、昨年12月に新発売いたしました潰瘍性大腸炎治療薬「レクタブル2mg注腸フォーム14回」などの売上が増加いたしました一方、本年4月に実施されました薬価改定の影響や技術料売上が減少いたしましたことなどにより減収となりました。また、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン(一般名、日本製品名ユリーフ)の欧州・中東・アフリカなどにおける技術導出先でありますレコルダッチ社(イタリア)では、当連結累計期間におきましても引き続き許諾地域内において製品育成を進めております。

・売上高(その他の事業)の状況

その他の事業の売上高は、56億7千9百万円(前年同期比32.4%増)となりました。情報サービス業で減収となりましたものの、物品販売業、建設請負業におきまして増収となりました。

・利益の状況

利益面では、減収及び売上原価率の上昇がありましたものの、研究開発費を主に販売費及び一般管理費が減少いたしましたことにより、営業利益は増益となりました。一方、経常利益は前年同期に計上いたしました有価証券評価益の反動により、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益の減少などにより、それぞれ減益となりました。

・研究開発の状況

昨年9月に当社との共同開発先であります杏林製薬株式会社より承認申請が行われました過活動膀胱治療薬KRP-114V(開発番号、一般名:ビベグロン)、同じく昨年9月に当社より承認申請を行いましたピートルチュアブル錠の剤形追加(顆粒剤)につきましては、本年9月にそれぞれ製造販売承認を取得いたしました。これら2剤につきましては薬価基準収載後に、KRP-114Vは製品名「ベオーバ錠」として、ピートルチュアブル錠の剤形追加は製品名「ピートル顆粒分包」として販売を開始するための準備を進めております。また、本年9月には、持続型赤血球造血刺激因子製剤ダルベポエチンアルファ(一般名)のバイオ後続品JR-131(開発番号)について当社との共同開発先でありますJCRファーマ株式会社より承認申請が行われました。なお、昨年6月に承認申請を一旦取り下げました糖尿病治療薬「グルベス配合錠」の剤形追加(口腔内崩壊錠)につきましては、追加試験が終了したことを受け、改めて承認申請を行いました。また、脊髄小脳変性症治療薬KPS-0373(開発番号、一般名:ロバチレリン)につきましては、第Ⅲ相臨床試験において、主要評価項目である運動失調を評価するSARA合計スコアの変化量について、プラセボと比べて統計学的に有意な改善が認められなかったことから、引き続き今回の試験により得られた結果について重症度による部分集団解析などの詳細な検討を行っております。

本年10月には、ライジェルフーマシューティカルズ社（アメリカ）との間で低分子チロシンキナーゼ阻害剤ホスタマチニブ（一般名）の日本・中国・韓国・台湾における独占的な開発権及び販売権取得に関する契約を締結いたしました。

なお、本年8月には、ユリーフ錠及びユリーフOD錠のオーソライズド・ジェネリック（以下、ユリーフAG）につきまして、当社の許諾に基づき、第一三共エスファ株式会社が製造販売承認を取得しております。ユリーフAGは、当社が製造し、第一三共エスファ株式会社が販売を担当します。

（2）財政状態に関する説明

・資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は2,222億5千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ114億3千7百万円増加いたしました。流動資産は受取手形及び売掛金、たな卸資産などが減少いたしました。現金及び預金などが増加いたしましたことなどにより、6億1千6百万円増加し987億8千万円となりました。固定資産は投資有価証券の増加などにより、108億2千万円増加し1,234億7千8百万円となりました。

・負債の状況

当第2四半期連結会計期間末の負債は363億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億1千4百万円増加いたしました。流動負債は、支払手形及び買掛金、未払法人税などが減少いたしましたことなどにより、22億8千7百万円減少し151億6千万円となりました。固定負債は繰延税金負債の増加などにより39億1百万円増加し、211億8千2百万円となりました。

・純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,859億1千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ98億2千3百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加いたしましたことなどによりです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の83.3%から83.5%となりました。

（3）キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より52億7千9百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末では526億4千万円（前連結会計年度末比11.1%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益、その他の流動負債の減少など資金減少要因がありましたが、売上債権、たな卸資産の減少などが資金増加要因となり、前年同期に比べ50億9百万円増の79億4百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、有価証券の取得による支出の減少などにより、前年同期に比べ17億8千万円支出減の14億6千7百万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ1億4百万円支出増の11億6千万円の支出となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

医薬品業界におきましては、後発品使用促進策等の医療費抑制策の影響を受け、引き続き厳しい経営環境下にあります。また、その他の事業におきましても、景気回復への足取りが鈍く依然として厳しい業界環境が継続するものと予想されます。現時点での平成31年3月期の連結業績見通しにつきましては、以下のとおりです。

連結業績見通し

	30年3月期実績	31年3月期見通し	対前期増減額	増減率(%)
売上高(百万円)	74,009	72,700	△1,309	△1.8
営業利益(百万円)	9,887	6,400	△3,487	△35.3
経常利益(百万円)	11,414	7,400	△4,014	△35.2
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	9,045	5,500	△3,545	△39.2

・売上高

当初見通しより10億円増額の727億円(前年度比1.8%減収)に修正いたします。

第2四半期連結累計期間の業績ならびに現況を加味した見直しを行いました結果、医薬品事業におきまして10億円の増額、その他の事業におきましては据え置きといたしました。医薬品事業では、主として国内販売提携先に対する売上を見直したことによります。

・利益

第2四半期連結累計期間におきましては、当初計画と比べ、売上高はほぼ同等でありました一方、売上原価率が低下し、また販売費及び一般管理費が下回りましたことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は当初見通しを上回りました。年度後半では、売上原価率の当初計画からの低下を見込んでおります一方、ライジェルフーマシューティカルズ社より導入いたしました研究開発テーマの契約一時金の計上などにより、研究開発費の増加を見込んでおります。

通期の利益見通しにつきましては、営業利益は当初見通しより15億円減額の64億円(前年度比35.3%減益)、経常利益は当初見通しより15億円減額の74億円(前年度比35.2%減益)、親会社株主に帰属する当期純利益は当初見通しより11億円減額の55億円(前年度比39.2%減益)の見通しであります。なお、年度後半の営業外損益ならびに特別損益におきましては、特別なものは見込んでおりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,371	29,646
受取手形及び売掛金	28,873	26,413
有価証券	23,288	23,369
商品及び製品	4,933	5,087
仕掛品	1,110	666
原材料及び貯蔵品	9,889	8,459
その他	5,698	5,138
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	98,163	98,780
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,489	38,629
減価償却累計額	△28,030	△28,393
建物及び構築物(純額)	10,458	10,236
土地	12,913	12,716
建設仮勘定	19	64
その他	15,703	15,925
減価償却累計額	△12,698	△13,081
その他(純額)	3,005	2,843
有形固定資産合計	26,396	25,861
無形固定資産		
投資その他の資産	1,716	1,605
投資有価証券	81,194	92,162
繰延税金資産	670	600
その他	2,733	3,298
貸倒引当金	△54	△50
投資その他の資産合計	84,545	96,011
固定資産合計	112,658	123,478
資産合計	210,821	222,258

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,894	4,649
短期借入金	1,757	1,750
未払法人税等	2,375	747
賞与引当金	2,225	2,086
その他の引当金	645	488
その他	5,550	5,438
流動負債合計	17,448	15,160
固定負債		
長期借入金	1,876	1,886
繰延税金負債	9,935	14,104
役員退職慰労引当金	151	149
退職給付に係る負債	4,623	4,357
資産除去債務	114	115
その他	577	568
固定負債合計	17,280	21,182
負債合計	34,728	36,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,226	24,226
利益剰余金	102,834	105,050
自己株式	△11,607	△11,607
株主資本合計	139,809	142,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,752	44,259
退職給付に係る調整累計額	△859	△773
その他の包括利益累計額合計	35,892	43,486
非支配株主持分	390	404
純資産合計	176,092	185,916
負債純資産合計	210,821	222,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	36,587	35,665
売上原価	12,327	13,513
売上総利益	24,259	22,151
返品調整引当金戻入額	11	22
返品調整引当金繰入額	11	15
差引売上総利益	24,259	22,157
販売費及び一般管理費	20,141	17,905
営業利益	4,118	4,252
営業外収益		
受取利息	18	13
受取配当金	541	581
有価証券評価益	556	—
その他	33	44
営業外収益合計	1,149	639
営業外費用		
支払利息	12	11
有価証券評価損	—	170
為替差損	78	6
その他	1	9
営業外費用合計	92	198
経常利益	5,174	4,693
特別利益		
投資有価証券売却益	309	1
特別利益合計	309	1
特別損失		
固定資産処分損	14	2
減損損失	—	49
特別損失合計	14	51
税金等調整前四半期純利益	5,470	4,643
法人税、住民税及び事業税	1,746	379
法人税等調整額	△576	915
法人税等合計	1,170	1,294
四半期純利益	4,299	3,348
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,280	3,337

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	4,299	3,348
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,121	7,507
退職給付に係る調整額	140	88
その他の包括利益合計	5,262	7,595
四半期包括利益	9,562	10,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,540	10,931
非支配株主に係る四半期包括利益	21	13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,470	4,643
減価償却費	1,169	1,256
減損損失	—	49
引当金の増減額(△は減少)	△135	△297
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△46	△139
受取利息及び受取配当金	△559	△595
支払利息	12	11
為替差損益(△は益)	△0	△2
有価証券評価損益(△は益)	△556	170
固定資産処分損	14	2
投資有価証券売却損益(△は益)	△309	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△2,906	2,459
たな卸資産の増減額(△は増加)	538	1,719
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△322	338
仕入債務の増減額(△は減少)	△711	△244
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,817	244
その他の固定負債の増減額(△は減少)	0	1
その他	0	△16
小計	3,474	9,601
利息及び配当金の受取額	510	540
利息の支払額	△11	△11
法人税等の支払額	△1,078	△2,225
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,895	7,904
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△38	△38
定期預金の払戻による収入	42	42
有価証券の取得による支出	△1,999	—
特定金銭信託の払戻による収入	66	80
有形固定資産の取得による支出	△1,033	△663
有形固定資産の売却による収入	20	150
無形固定資産の取得による支出	△161	△106
投資有価証券の取得による支出	△700	△305
投資有価証券の売却及び償還による収入	503	66
貸付けによる支出	△24	△73
貸付金の回収による収入	54	50
長期前払費用の取得による支出	△1	△638
その他	24	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,248	△1,467

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	80	—
短期借入金の返済による支出	△80	—
長期借入れによる収入	132	20
長期借入金の返済による支出	△47	△17
リース債務の返済による支出	△28	△41
配当金の支払額	△1,111	△1,121
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,056	△1,160
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,409	5,279
現金及び現金同等物の期首残高	48,098	47,360
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,689	52,640

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	医薬品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	32,297	32,297	4,290	36,587
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2,553	2,553
計	32,297	32,297	6,843	39,141
セグメント利益	3,862	3,862	257	4,120

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,862
「その他」の区分の利益	257
セグメント間取引消去	18
固定資産の調整額	△25
その他の調整額	5
四半期連結損益計算書の営業利益	4,118

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	医薬品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	29,985	29,985	5,679	35,665
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2,188	2,188
計	29,985	29,985	7,868	37,854
セグメント利益	4,017	4,017	216	4,234

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,017
「その他」の区分の利益	216
セグメント間取引消去	17
固定資産の調整額	41
その他の調整額	△40
四半期連結損益計算書の営業利益	4,252

(重要な後発事象)

(契約の締結)

当社は、ライジェルフーマシューティカルズ社と以下のライセンス契約を締結いたしました。

1. 契約の目的

ライジェルフーマシューティカルズ社が保有する、低分子チロシンキナーゼ阻害剤ホスタマチニブ(一般名)に関する日本・中国・韓国・台湾における独占的な開発権及び販売権の取得

2. 契約の相手先の名称

ライジェルフーマシューティカルズ社(アメリカ)

3. 契約締結日

平成30年10月29日

4. 契約の内容及び契約の締結が営業活動等へ及ぼす重要な影響

ライジェルフーマシューティカルズ社より低分子チロシンキナーゼ阻害剤ホスタマチニブ(一般名)に関する日本・中国・韓国・台湾における独占的な開発権及び販売権を取得したことに伴い、同社に対して契約一時金を支払うとともに、開発段階及び売上に応じたマイルストーン、製剤購入に伴う支払いが発生いたします。

3. その他

(1) 販売実績

当連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業						
泌尿器科用薬剤	8,553	23.4	8,947	25.1	393	4.6
腎・透析科用薬剤	5,582	15.3	5,682	15.9	99	1.8
代謝内分泌科用薬剤	5,101	13.9	4,006	11.2	△1,095	△21.5
産婦人科用薬剤	1,379	3.8	963	2.7	△416	△30.2
眼科用薬剤	593	1.6	494	1.4	△98	△16.6
その他の薬剤	5,312	14.5	4,909	13.8	△402	△7.6
ヘルスケア食品	1,883	5.1	1,866	5.2	△16	△0.9
その他	3,890	10.6	3,115	8.7	△775	△19.9
報告セグメント計	32,297	88.3	29,985	84.1	△2,311	△7.2
その他の事業	4,290	11.7	5,679	15.9	1,389	32.4
合計	36,587	100.0	35,665	100.0	△922	△2.5
(うち輸出高)	(4,419)	(12.1)	(3,305)	(9.3)	(△1,114)	(△25.2)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。